

令和3年度 事業報告書



NPO 法人
TOKYO NOVYI · ART

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染者数について徐々に減少傾向が見られ始め、少しづつ経済活動が動き始めた中、2022年2月24日に起こったロシア・プーチン政権によるウクライナ侵攻は世界に衝撃を与えました。いまなお、日々リアルタイムに戦争が続き、戦争の終結は今現在も見えていません。この戦争はコロナ渦の影響に加え、私たちにダブルのダメージを与えています。これまで進めてきた国際交流の主要な柱（海外の演劇フェスティバルを通しての国際文化交流）については、ほぼゼロからの再スタートを余儀なくされています。

しかしながらこれらの厳しい状況は、現代社会においては多くの人々が、“生きる喜び”を希求しているという事実を浮き彫りにしていると思います。私たちは、より原点に立ち戻り、よりエネルギーに、人々に“生きる喜び”を与えていこうと思います。

理事長 岡崎弘司

2. 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に関わる事業） ＜演劇の公演事業（定款5条-1）＞

観劇者様の感想を抜粋掲載します。

令和3年12月 能楽堂「検察官」公演での感想（抜粋）

「丁寧なる解説付きのご返信をありがとうございます。このようなお話を聞くとますます応援したくなります。先ほどお伝えしましたが、今回の舞台がとても良かったことや、サポーター制度がなくなり何らかの形でお役に立てないかと思っていたところに、今回の公演で寄付申込のチラシをいただきましたご縁から、家族を代表し、私が先ほど寄付申込書を劇団公式メールアドレスに送付しました。少しばかり(5万円)ですが、ご指定の三井住友銀行口座にお振込みもいたしました。公式メルアド宛に送ったので、ご確認頂けますと幸いです😊 来年12月に再度「検察官」公演を行うのですね👏 これからも応援しております😊」

「Tokyo Novyi · Art のゴーゴリ『検察官』@梅若能楽学院会館、面白かった！

やはり舞台はいい。能楽堂でやるロシアの喜劇は刺激的。ひとりひとりの役者さんが、すぐそこにいる巷の人のようであり、時にいびつで過剰であり。ひとびとの主観と主観の間を、誤解と笑いと風刺でつながっていくような、連歌を見ているようなあっという間の時間。ゴーゴリの壮絶な人生、脚本を燃やしたり、海外への逃亡を繰り返したり、41歳で餓死してしまうなど、、、を知ると、彼の内面にはどれだけの強い嵐が吹き、火が燃えていたのかと、創造を絶するところがある。

やはり舞台芸術は偉大です。コロナ禍の中で、TV映像だけではなく、こういう肉弾戦のような舞台を、人々は渴望しているような気がします。ぜひみなさんも、近場の劇場に足を運びましょう（軽井沢は劇場ないです・・・汗 東京うらやましー）」



令和4年4~5月 オンライン「検察官」公演での感想（抜粋）

「こんにちは♥ 『検察官』今回の配信は、先日の舞台とは演出も異なり、なるほど、という作品となっていました。生配信であるのに、編集映像のようであったのが驚きでした。カメラワークや切り替えなど、担当される方の技術が、作品の仕上げに生かされますね。欲を言えば、ピントがもっと即座にくるといいなあ、と思ったところがありました。また、舞台の明度と配信の画質は、引き合いなところなのでしょうか。舞台が暗めな分、配信画質が、少し荒いものになったのかと思って観ていましたが、そこはわざとな、昔の映画風な演出かとも思いました。星の王子さまもまた、舞台があるのですね。家に居ながら、くつろいで観れる舞台は、生は、もちろん良いですが、でも、配信で観るのも、ありなんだな、との初ネット観覧でした。ではまた次回を楽しみにしています♥ 人というものの、に深い、作品を🌟 ありがとうございます♥ 良かったです。」

「公演、お疲れさまでした。拝見させていただきました。
コメディとはいえ、雰囲気のあるオンラインならではの演出で、人間くさい話の展開が不条理さを醸しておもしろかったです。今回は素敵なお芝居をご紹介いただきありがとうございます。今後ますますのご活躍を楽しみにしていま〜す🌟
お芝居っていいですね。人に感動を与えるお仕事ですもの。毎回、緊張感の中で頑張られていると思いますが、感動している人達がたくさんおられます♥これから自信をもって頑張ってくださいね」

「皆さま、大変ありがとうございます！とても、楽しませていただきました。
関西弁での地方感、土着性は、下手をすると、表面的なコミカルさに陥る可能性もある演出なのでしょうが、全くそれを感じませんでした。役者さん達の発する言葉、演技が表面的な方言や言い回しの域を完全に凌駕し、それぞれの役者さんたちの個性、言い換えれば、それぞれの役者さんが、精神の奥底で対峙されている内面性と深く結びつき、また、その個々が、全体としてのチームワークの良さ、長年培われることによる絆によるアンサンブルにより絶対的な説得力を有する舞台を創られていると感じました。
素晴らしいことだとおもいます。ありがとうございます。」



令和4年6月 能楽堂「星の王子さま」公演での感想（抜粋）

「能楽堂での「星の王子さま」本当に素晴らしい企画ですね。能楽堂は、異なる世界に住む者が訪れ会い別れる特別な空間。砂漠に不時着した飛行士の元に星の王子さまが「橋掛り」から現れた…その瞬間、「星の王子さま」はアメリカで書かれた時から、いつか能楽堂で演じられるべき運命の元に生まれたのでは…と、余りにも見事な符合に、静かだがとても深い衝撃を覚えました。完璧に、納得の演出。アニシモフ氏に、拍手でした。」

「楽しい時をありがとうございました。面白い演出を出演者も楽しんでいらっしゃる感じが伝わってきました。思いがけない戦争など、日常がどんどん悩ましくなっていますので、王子様と一緒に考える時間は貴重でした。改めて御礼申し上げます。」

「完成度の高い舞台でした。言葉のわからないひと、例えば外国人が観ても、というよりわからない人のほうがより伝わるのではないかと思います。またの機会を楽しみにしております。」



(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【15,361】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者数	受益対象者範囲・人数	事業費(千円)
演劇の公演事業 (定款5条-1)	<p><古典作品の素晴らしさを広めるための公演活動> 能楽堂公演 ゴーゴリ作「検察官」 ロシア文化フェスティバル「2021」公式プログラム参加作品</p> <p>ロシア演劇の古典の代表作であり、汚職やワイロ政治を徹底的に批判した喜劇「検察官」を、関西弁などを駆使しながら上演。</p>	令和3年 12月 4日～5日 (2公演)	梅若能楽学院会館 (東京都中野区)	29名	一般人 275人	6,748 (千円)
	<p><古典作品の素晴らしさを広めるための公演活動> オンライン公演「検察官」</p> <p>12月に初演された舞台を、あたかもサイレント映画のような表現を通してグロテスクさを強調、より鮮明な映像作品として練り直しオンラインで公開。</p>	令和4年 4月24日、 ～ 5月8日 (2公演)	TOKYO NOVYI・ART (東京都世田谷区)	27名	一般人 96人	
	<p><古典作品の素晴らしさを広めるための公演活動> 能楽堂公演 サンテグジュペリ作「星の王子さま」 (再演)</p>	令和4年 6月11日 (1公演)	梅若能楽学院会館 (東京都中野区)	27名	一般人 138人	
	<p><古典作品の素晴らしさを広めるための公演活動> 夏休み特別企画 映像配信「銀河鉄道の夜」</p> <p>翌8月には能楽堂公演「星の王子さま」映像を配信。</p>	令和4年 7月 16～31日	国内	2名	一般人	

<演劇芸術に関わる人材育成支援事業(定款5条-2)>



9期を受講された方の感想を抜粋掲載します。

<対面クラス>

「本場ロシアの先生から、現代西洋演技術の基礎である本物のスタニスラフスキーシステムについて学びたかったので受講しました。二年目でしたが、今年は勇気を持って重要な役をやらせていただいたことで、メソッドの理解度が深まった気がします。また頭で理解することと、実践することには、大きな違いがあることを体感しました。これまで40年近く子ども番組作りに真剣に取り組んできましたが、目標を見失いかけていた時、アニシモフ先生に会えて、俳優が芸術家だと信じられるようになりました。若い役者さんや、長年の自分の演技に自信がなくなった役者、役者をやってみたい人。演技を指導する立場の人たち。そして演じることで自分を知りたい人にお勧めしたいです(女性60代 演出家)

「大学の講義でスタニスラフスキーシステムについて知り、調べていたらアカデミーのことを知りました。真実感覚とはどのようなものなのか分からなくて、知りたいと思い受講しました。またお芝居の経験がなく、何もかもはじめてで、どのように作品ができていくのかを知りたいと思いました。アカデミーに来る前は演じるためのシステムだと思っていたのですが、作品を書くときにも絶対にスタニスラフスキーシステムは助けてくれると思いました。なので、書いていらい

やる方や書きたいと思っている方にもお勧めしたいです（女性 20代 学生 作家志望）」

「日本で本場のスタニスラフスキーシステムを学べる唯一のところだと思ったので受講しました。実際に受講して、今のやり方が如何に嘘、型でやっていたかが分かりました。戯曲の分析と、提案された状況をいかに真実持って信じられるかという点が難しかったですが、物事に取り組む際の少し前のめり過ぎる感じは緩和されたかな？とは思いますが。役者問わず、スタニスラフスキーシステムを学びたいと思っているひとにお勧めします（20代 男性 声優）」

「アカデミーを受講して、日々同じ事の繰り返しは人生だと理解していましたが、日々変化する流れの中で、自分自身に本気で挑戦していくものだと気付きました。アカデミーのプログラムを小学生の教育プログラムに入れて欲しい…。自分自身を見失っている人があまりに多く、全ての人に対応しようと思えます（女性 40代 教育関係）」

「メソッド演技を習うにつれ、ちゃんと大元のスタニスラフスキーシステムを学びたくなったので受講しました。アカデミーでは毎回、本当に魂が震えるほどの感動や気づき、癒し、喜びがありました。本番では、一生涯を生きたくらいの貴重な学びがあったし、また、現人生でやれなかったことを追体験することが出来たので、悔いがなく生ききったという感じもあります。とても感謝しています。以前は自分の喜びや満足、癒しのために、演劇をしていたかと思いますが、これからは、本当に誰かのために演劇をやりたいという気持ちに変わりました。そのために私はどうやったらいいのか？ということ意識して、来期も学び続けたいです（女性 俳優）」

<オンライン通常クラス>

「仕事や家庭の都合で対面受講が難しかったのですが、オンラインによって時間的、地理的な負担が軽減されたので受講しました（動画で補講できたのはとても助かりました）。初めはスタニスラフスキーシステムの用語など分析的な知識や、声優の仕事現場でスタンプに陥らない演技力を得たいと思っていましたが、上記を一番の目的にするとおかしな方向にいくぞ、と気づき笑、最終的には、より良い生き方を学べる場所だと思えました。上手くやろう、よく見られよう、という自意識との闘いが難しかったのですが、求めていた演劇的テクニックは、相手を理解したいという思いと自分を深く理解したいという欲求へと変化していきました（男性 40代 声優）」

「私は遠方住んでおまして、アカデミーを受講させて頂く事がなかなか出来なかったのですが、この度本当にラッキーなことにオンラインでも受講させて頂けると知り、すぐに申し込みさせて頂きました。日々の生活に追われて、心を込めて言葉を発する感覚が薄れていくのをかんじ、アカデミーを受講することを通して、何ともしも一度立ち止まり、丁寧に暮らす事で、大切な人々をより幸せにする方法を知り得たかったです。実際に受講してみて、時間の感覚がかわりました。抽象的になりますが、受講前よりも明らかに幸せです。生きる意味を探している方にお勧めします。（女性 30代）」

「アカデミーで新たに zoom で受講できるクラスが始まると知り、この形だったら、自分の今の状況下でも継続して集中的に学ぶことが可能だと思いました。実際に始めてみると、想像していたよりもずっと、実践的に参加させてもらう割合が高かったのも、理論的な形式だけではわかりづらかったであろうことを、たくさん学ぶことができたと思います。興味深かったのは、オンラインであっても、アニシモフ校長の考えや、対面リハーサルの中で起きていること等が、高い確率でこちらへ届いてくるように感じられたことです。オンラインでしか知らない方々と、リハーサルまでを重ねていくプロセスは、最初はなんだか不思議に感じて、難しいようにも思いましたが、お互いを感じ始めたりシーンが明確になると、難しさは少しずつ消えていったように感じます。様々な訓練を重ねているうちに、日常において身のまわりの世界との関わり・受け取り方が、ずっと細やかに、クリアーに、広くなりました。常に自分をクレンジして、演劇という芸術に貢献していける人間になりたいと思います（女性 40代）」

（事業費の総費用【 15,361】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者数	受益対象者 範囲・人数	事業費 (千円)
演劇芸術に関わる人材育成支援事業 (定款5条-2)	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」 日本で唯一、ロシアの一流演劇大学と同じ水準でスタニスラフスキー・システムを学ぶことができる、本格的なアカデミーを開校。本場ロシアの演劇学科3年間で学ぶ『役作り』の全工程を、10ヶ月間に凝縮して修得する。 (当期は、第9期生) オンライン授業を併用し、受講者の学習の充実を図る。	令和3年 10月11日 ～ 令和4年 7月5日 (10ヶ月間)	TOKYO NOVYI・ART (東京都世田谷区)	8人	一般人 38人 [内訳] 対面クラス、 21名 オンライン 通常クラス 5名 聴講クラス 12名	8,560 (千円)

<演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款 5 条-2）

TOKYO NOVYI・ART 主催 第1回「国際オンライン・シンポジウム」

[日時] 12/18(土) 11:00～15:00（出入り自由）

[テーマ] オンライン公演・講演の有益性と今後の可能性！

[参加者]

日本側 京都にて、 宗教哲学神道ソングライター 鎌田東二 氏

日本側 湯河原にて、 作家 田口ランディ 氏

日本側 下北沢劇場にて、 「神様との約束」等 ドキュメンタリー映画監督 荻久保則男 氏 / ロシア功労芸術家

TOKYO NOVYI・ART 芸術監督 レオニード・アニシモフ氏 / 劇団メンバー 岡崎弘司 氏、天満谷龍生 氏、
中村恵子 氏（司会）、大坂陽子 氏（通訳）

ロシア側 ウラジオストックにて 学者 セルゲイ・ヤーチン氏、他、全5名

ロシア側 モスクワにて 学者 グロムイコ 氏

[通訳] 児島宏子 氏 / 鍋谷真理子 氏 / 大坂陽子 氏

[撮影協力] 鈴木正尚 氏

[進行] レオニード・アニシモフ氏

（事業費の総費用【 15,361】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者数	受益対象者 範囲・人数	事業費 (千円)
演劇芸術を通じた国際文化交流事業 (定款 5 条-4)	<p>第1回「国際オンライン・シンポジウム」 ～オンライン公演・講演の有益性と今後の可能性！～ 鎌田東二 氏（宗教哲学）、田口ランディ 氏（作家）、 荻久保則男 氏（映画監督）、およびロシア側より、セル ゲイ・ヤーチン氏（哲学） 他、全5名が参加。</p> <p>京都、湯河原、そしてウラジオストック、モスクワ間 を繋いで Zoom シンポジウムを開催。</p>	令和3年 12月18日	TOKYO NOVYI・ ART (東京都世田谷区)	28 名	一般人 不特定多数	52 (千円)